

現在までの流れ

- 近鉄駅前は昭和42年度に都市計画決定され、その後整備計画が数度検討された。
- 近年では平成14年度に駅前広場計画案が検討されたが財政状況の悪化の理由により検討途中で中止となっている。
- 御所市の人口減少や観光客増加等の課題解決のため、第5次総合計画に基づき平成24年度から駅前広場のエリア内の利便性向上に特化した整備の検討を始めた。
- 市民ニーズを得るために「近鉄御所駅前のあり方を検討する会」を立ち上げ意見を出し合ってもらった。

市民ニーズ

- 鉄道に関する改善策のうち駅前の整備を早急にしてほしいとの要求が最も多い。

「具体的な改善要望内容」

- ・ 駅の改札口が東向き一方向になっており、葛城台をはじめとした駅西側住民の駅へのアクセス性向上。
- ・ 駅から出たときのバス停の位置が明確に理解できる広場とする。またバス停に屋根やベンチの設置。
- ・ 路線バスのうち五條行きバス停が駅から北へ100m強離れた場所にあり雨の日や、急いでいるとき、また高齢者の方からは国道を横断してバス停に行く不便さの解消。
- ・ 鉄道利用者に対する送迎用の駐車場所の拡充。(朝夕の通勤、通学時に送迎する車が集中し、自家用車同士並びに自家用車とバスのスムーズな交通の流れを阻害している。)
- ・ タクシー乗り場が左廻りのロータリーとなっていることからタクシーの自動ドアを利用するときに一度ロータリー内に降りる不便を解消。
- ・ 駅構内並びに駅前広場のバリアフリー化。
- ・ 駅に近接する駐輪場の設置並びに増設。
- ・ 駅前に売店、飲食店、土産物店を設置。
等が代表的なものである。

観光客のニーズ

- ・ バス停に屋根やベンチの設置。
- ・ 観光案内所の位置が分かりづらい。観光案内所の充実。
- ・ 案内板、付近地図の充実。
- ・ 駅前で軽食、喫茶が出来る場所の充実や待合スペースの充実。

資料 1 (現況図)



駅利用者数状況

駅利用者数

| | | | |
|--------------------|---------------|-----|------------------|
| 近鉄 | 3,819 人/1 日 | 実測値 | 調査年 H24-11-13 |
| 奈良交通 (路線バス) | 82 人/1 日 (乗車) | 平均値 | 調査年 H25-6-7・6-10 |
| | 84 人/1 日 (降車) | | |
| 奈良交通 (コミュニティバス) | 42 人/1 日 (乗車) | 平均値 | |
| | 38 人/1 日 (降車) | | |

「近鉄御所駅前のあり方を検討する会」

平成25年度から始めた「検討する会」は市民の方9名（近鉄電車利用の高校生2名、大学生1名含む）が委員となり、オブザーバーとして大阪芸術大学デザイン学科教授、バス事業者の奈良交通も参加の上、市民が望む駅の像が話し合われた。技術的な助言は委託先である全日本コンサルタントが対応した。

（年度内に計6回 開催）

出された主な意見

- ・ 現在は東側に一カ所しか設けられていない改札口の位置は駅西側に住む住民にとっては利便性が悪い。西側改札の設置か南側から入れる工夫は出来ないか。
- ・ 近鉄電車への送迎時には、広場内が大変混雑している。余裕の有る送迎スペースが欲しい。（特に朝・夕に混雑する）
- ・ 奈良交通のバス停留所が集約されておらず、観光客には分かりづらい。また五條方面行きバス停が北側100m以上離れており利用しづらい。
- ・ バリアフリー化がなされておらず、実際の利用時に非常に不便を感じる。（段差、トイレ、案内図、バス乗り場）
- ・ 駅周辺に託児所や買い物出来る場所があれば賑わいが出ると思う。
- ・ 案内板等が不足してる。
- ・ 駅舎のデザインは御所らしさをイメージしたものや、奇抜なものにしたい。

近鉄御所駅前整備事業フロー 案

| | スケジュール案 | | | | |
|---|---------|-----|-----|-----|-----|
| | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
| 基本構想案の作成 | → | | | | |
| 予備設計(関係機関協議含む。(近鉄、奈良交通、タクシー、警察、国道、県道、隣接地権者、自治会等)) | | → | | | |
| 実施設計業務 | | | → | | |
| 工事 | | | | → | |
| 御所市地域公共交通会議 | — | | — | | — |
| 近鉄御所駅前のあり方を検討する会 | — | | — | | |

